

食事処「潮風」新設

小豆島
国際ホテル

土庄町銀波浦の小豆島に一番近いホテルとして国際ホテルは7月18日、カップルを中心に注目を集めており、この個人客

個人客向けの食事処「潮風」を本館2階にオープンさせた。恋人の聖地」として知られる砂の道「エンジェルロード」

同ホテルは海に面して

おり、南側には弁天島が隣接。ここから中余島、小余島などへとつながる

砂州が1日2回現れるため、いわば「エンジェルロードの入口」として昨今、個人客が増加しているという。幸せを祈願する絵馬やポストカードも販売しており、カップルなどから人気を集めている。

オープンした「潮風」は、これまでの広さ20畳の宴会場4室を、80人利用可能な食事処として一

新。海を望む落ち着いた雰囲気

が漂う空間に、家具の産地として名高い飛騨高山のイスとテーブルを配したほか、小豆島特

産のオリーブや醤油にまつわる書籍も展示している。

また、小豆島唯一の酒蔵メーカーである森国酒造とタイアップ。地酒の飲み比べも実施している。

落ち着いた雰囲気



そのほか、来年開催の瀬戸内国際芸術祭に向けて、これまでの同祭にまつわる書籍が読めるコーナーを1階のカフェに新設するなど、個人客向けのサービスの充実を図っている。